

# 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2013年(財)日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項により行う。
2. 競技者の招集について
  - (1) 招集場所は、正面玄関東側の雨天練習走路で行う。
  - (2) 招集時刻は、その競技の開始時刻を基準とし、下記のように定める。
    - トラック競技……………30分前に開始し、20分前に終了する。
    - フィールド競技……………40分前に開始し、30分前に終了する。
    - 【棒高跳】……………70分前に開始し、60分前に終了する。
  - (3) 招集の手順
    - ア. 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、係員にナンバーカードとスパイク、衣類及び競技場内への持ち込み物品などの確認を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
    - イ. 個人種目とリレーに出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、あらかじめ本人または代理人が、その旨を所定の用紙(競技者係備え付け)に記入し、競技者係に提出する。招集は代理人が行う。
    - ウ. 四種競技出場者の招集については、以下の要領で行う。
      - \*トラック種目:(3)のアに従って、点呼を受ける。
      - \*フィールド種目:招集開始時刻に招集所に集合し、混成競技係による点呼を受ける。
    - エ. リレーの招集は、予選・決勝ともに4人そろって点呼を受ける。ただし、個人種目と重なるため、点呼が受けられない場合は、(3)のイに従い点呼を受ける。
    - オ. 競技への出場をやむをえず棄権する場合は、招集開始時刻までに各府県の監督がその旨を競技者係に申し出る。
    - カ. フィールド競技において、リレーと競技時間などが重なる場合には、審判長の判断で、1ラウンドに一度、走高跳および棒高跳で各試技に一度、試技順を変更して出場することができる。

〔競技規則第142条3〕
    - キ. 招集時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
3. 競技運営について
  - (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の左側の番号で表す。
  - (2) トラック競技の計時は、写真判定(1/100秒)とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。(1/1000秒単位で確認するが、2/1000秒以上の差が認められた場合を着差とする。) 

〔競技規則第167条(国内)〕
  - (3) トラック競技で、タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、同記録者が出たときに、レーン数が不足する場合は、同記録の写真をより細かく優劣を判定して進出者を決定する。それでも決定できない場合は本人の抽選により決定する。 

〔競技規則第167条〕
  - (4) 各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者はすべて失格とする。(スタートにおける不適切行為があった場合は、当該競技者に対して警告を与える。同じレースの中で、2度以上の警告があった場合は不正スタートとなる。) また、同じ競技者が同じレースの中で3度の警告があった場合も失格となる。 

〔競技規則第162条7〕
  - (5) リレーの予選は、3組1着+5とし(各組1着と2着以下は各組タイムレースとし上位5チーム)計8チームで決勝を行う。
  - (6) リレーの出場者は、チーム同一のユニフォームを着用しなければならない。 

〔競技規則第143条(国内)〕
  - (7) リレーのマーカーは、最大50mm×400mmで1カ所使うことが許される。マーカーは各チームで準備をすること。 

〔競技規則第170条4〕
  - (8) リレーチームの編成メンバーは、予選、決勝ともに、リレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者であること。 

〔競技規則第170条10〕

- (9) リレーチームのオーダー用紙提出は、予選・決勝ともに招集開始時刻の1時間前までに競技者係に提出する。〔競技規則第170条11〕
- (10) 低学年リレーの走順は、2年→1年→1年→2年の順とする。
- (11) 短距離競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン到着後も自分の割り当てられた走路(曲走路に沿って)を走る。
- (12) 競技者に対する助力は禁止する。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ただし、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を持ち込むこともできない。〔競技規則第144条2(b)(d)〕
- (13) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行う。
- (14) 助走路が使われるフィールド競技のマーカ―は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されない場合は、粘着テープを使用してもよい。〔競技規則第180条3(a)〕
- (15) サークルから行うフィールド競技では、マーカ―を1つだけ使用することができる。〔競技規則第180条3(b)〕
- (16) 競技者の変更については、申し込み以降大会当日までに不測の事情により出場が不可能になった競技者が出た場合、その旨を委員長会議(当日の監督会議30分前)で承認し、監督会議で了承を得ることを原則とする。それ以降の突発事故などが発生した場合は、緊急委員長会議で承認する場合がある。
- (17) 抗議は、競技規則第146条に従って、各府県の監督を通じて行う。

#### 4. ナンバーカードについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきりと見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。ただし、跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。〔競技規則第143条7〕
- (2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。(腰ナンバーカードはスタート時に受け取り、競技終了後フィニッシュ地点で返却する。)

#### 5. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1 m 6 0	1 m 6 5 (+ 5 cm) …… 1 m 8 5 (+ 3 cm)
	女子	1 m 3 5	1 m 4 0 (+ 5 cm) …… 1 m 5 0 (+ 3 cm)
棒高跳	男子	3 m 0 0 3 m 6 0	3 m 2 0 (+ 2 0 cm) …… 3 m 6 0 (+ 1 0 cm)
	四種競技 (走高跳)	男子	1 m 4 0
女子		1 m 6 0	1 m 2 0 (+ 5 cm) …… 1 m 4 0 (+ 3 cm)
		1 m 1 5 1 m 3 5	

- ① 走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。
- ② 第1位を決定するためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmきざみとする。〔競技規則第181条9(c)(d)〕

#### 6. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が準備したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。個人所有のポールは、競技開始前にピットにおいて競技役員の検査を受け、合格したもののみ許可する。

## 7. 表彰について

- (1)各種目3位までの入賞者は、決勝競技終了後、競技役員の誘導によりただちに本部席（表彰者待機場所）に集合すること。不都合な場合は必ず代理人を出す。
- (2)入賞者の得点は、1位8点、2位7点～7位2点、8位1点とする。

## 8. 競技場使用について

- (1)ウォーミングアップ場は、多目的グラウンドと競技場外側のゴムチップ舗装のジョギングコース（スパイクは不可）とする。  
ただし、フィールド競技については、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で練習が行える。
- (2)本競技場での練習は、事前に連絡された時間帯以外は認めない。
- (3)スパイクのピンは全天候舗装用のピンを使用し、長さは走高跳12mm、それ以外は9mm以内とする。  
競技用の靴については、競技規則第143条2・3・4・5・6を適用する。
- (4)更衣室は施設内にあるので利用してもよいが、盗難に遭わないよう貴重品や荷物を更衣室内に置かない。  
盗難が発生した場合、主催者側は一切の責を負わないので十分に注意する。
- (5)出場する競技者・役員以外は競技場内に立ち入ることはできない。ただし、走幅跳・三段跳においては、コーチ席を競技場内に設置する。各校1名ずつIDカードを受け取り、競技場内のコーチ席への立ち入りを認める。
- (7)フィニッシュした競技者がスタート地点に戻る場合、スパイクを脱いで競技場を出るか、競技場内の外側のスペースを通過してスタート地点に戻ること。ただし棒高跳の邪魔にならないようにすること。（競技場外側でのスパイクの歩行は禁止。）

## 9. 商標について〔競技会における広告および展示物に関する規定〕

競技場内に商標名のついた衣類・バックなどを持ち込む場合、以下の規定を守る。

- (1)上半身の衣類……面積30cm<sup>2</sup>、文字は縦4cm以内、ロゴ全体では縦5cm以内1ヶ所とする。
- (2)下半身の衣類……面積20cm<sup>2</sup>、文字は縦4cm以内、(ロゴを含む)1ヶ所とする。
- (3)バック……面積25cm<sup>2</sup>、ロゴは2ヶ所までとする。(2ヶ所同一のものでなければならない)

## 10. その他

- (1)記録証の交付について  
希望者は、記録証交付係（正面玄関入口）まで申し込む。(有料 一部500円)
- (2)集団での応援について  
メインスタンドでは、集団でのゴーゴーコールなどの大声での応援は一切禁止する。また、フィールド競技進行中やスタート前は大声での応援は自粛する。
- (3)競技場スタンドでのテント・横断幕・のぼり等の設置は、下表に従い行う。

	テント・ターフ	横断幕	のぼり
正面スタンド	中段通路より上部	スピーカー・時計が隠れないこと	上段通路より上部
芝生スタンド	制限なし（バックネットにはくくりつけないこと）	バックネット禁止	バックネット禁止 手すりは可

- ①選手個人名が書かれた横断幕やのぼり旗の設置は、競技会における広告および展示物に関する規定により禁止する。
- ②特にテント・ターフの設置について、ロープが通路部分に絶対にはみ出さないように注意すること。設置方法に関連した事故については、設置者がすべての責を負う。
- (4)多目的グラウンド内及び周辺（別紙参照）にテント・ターフは設置してよいが、ネットにくくりつけることは禁止する。
- (5)開門時刻（本競技場・多目的グラウンド）

8月5日(月) 10時30分

8月6・7日(火・水) 7時30分

\*本競技場の100mスタート地点側ゲート、100mゴール地点側ゲート、多目的グラウンドゲートは上記記載の時刻に同時に開門する。

#### 11. 競技場練習開放時間

本競技場	8月5日(月)	10時30分～16時00分	棒高跳(可) 砲丸投 11:00~15:30 円盤投 12:00~15:30
	6日(火)	7時30分～9時30分	棒高跳(助走路可) *ハードルはホームストレートに各5台設置 男子用第9レーン・女子用第8レーン
	7日(水)	7時30分～9時30分	*ハードルはホームストレートに5台設置 女子用第9レーン
多目的 グラウンド	8月5日(月)	10時30分～16時00分	
	6日(火)	7時30分～17時30分	円盤男子 8:00~9:45 円盤女子 12:00~13:45
	7日(水)	7時30分～16時00分	砲丸女子 7:30~9:15 砲丸男子 10:30~12:15
砲丸練習場	8月6日(火)	7時30分～17時30分	

- (1) 準備の都合上、一部制限を加えることがある。
- (2) 5日の本競技場では棒高跳の練習を行うことができる。  
また、6日の朝は棒高跳の助走路のみ使用できる。
- (3) 投てき練習は、各顧問の監督下で十分安全に留意し、責任をもって行う。  
砲丸・円盤の貸し出しは行わない。
- (4) 事故に関しては、主催者側は応急処置以外の一切の責を負わない。

#### 12. ゴミ処理について

ゴミは各自で持ち帰りになっています。